

2023年度ひなぎく幼稚園 事業活動経過報告（自己評価）

2024年2月9日

学校法人臼井学園ひなぎく幼稚園

1. 本年度重点的に取り組んだ項目

① キリスト教の教えを生かし、思いやりの心を育てる

思いやりの心を育てることがキリスト教保育の目標ではなく、神様の恵みに感謝し、聖書のみ言葉が子ども達を導くと信じ伝えることを大切にしたい。

② 多様性を生かした教育活動をする

外国籍の保護者にそれぞれの国の言語や文化を紹介してもらい世界に目を向ける教育のきっかけとなった。またケニアの幼稚園の園長を招き話を聞いた。

ともに育ち合う園を目指し、事例検討会を重ね、チーム保育を進めている。個別に配慮が必要な園児に対しての環境設定、人員配置、他機関との連携においても注力している。

③ 木工教育

教員は共通の目的意識を持ち木育研修会に参加、研鑽を重ね木育インストラクターの資格を2名が取得した。DIYが得意な保護者に木工活動のお手伝いをお願いし、良い保育参加の機会となっている。

④ 自然観察を楽しむ

年長組は種からヘチマを育てようとしたが失敗。その原因を考える機会となった。野菜栽培は園庭の畑で成功。ブドウやキウイが豊作でブドウ献金も行った。酷暑の影響もあり、2階テラスのプランターで野菜を育てることは管理が難しい。園庭の畑を広げることを来年度の目標にする。

⑤ 演劇、音楽、美術工芸による教育を行う

教員は共通の目的意識を持ち、造形教育の研修会に参加。研鑽を重ね、絵画指導インストラクターの資格を2名が取得した。新しい画材と楽器も取り入れた。

⑥ 預かり保育の充実を図る

長期休暇中に全教員が交代で預かり保育の運営を担当し、異年齢、長時間保育の課題を認識し共有できるようになった。利用希望者が増加しているので体制の強化が必要。

⑦ 地域の子育て家庭を支援する

地域への育児貢献は従来のメニューに加えて入園に向けてのクラスをスタート（母子分離）、保護者にはガイダンスを行う。子育て広場デイジー開催、食育講座も継続している。

⑧ 入園予定者のガイダンスとプログラムを整備する

入園予定者のガイダンスとプログラムには工夫が必要。（土曜日に説明会開催など）

⑨ SDGsに配慮した園運営を行う。

各保育室のごみの分別・リサイクル・リユースの指導を続けている。また、教師はプラスチック製品を安易に購入せず素材を検証してから購入するようになった。このような教師間の意識は園児に伝わり、ひなぎく祭では年長組の海のごみ拾い遊びコーナーが生まれ、保護者や年中、年少組に呼びかけた。

2024年3月9日実施 評議員委員会 議事録より抜粋（学校関係者評価）

園長作成の経過報告書にて報告され了承され、寄せられた意見は下記

- ・複数の教員が保育に必要な資格を取得し保育に反映していることは高く評価する。引き続き多岐な資格取得や研修を促し、引き出しの多い教員を増やしてほしい。
- ・自然観察は園児の楽しんでいる様子が見られ有意義である。一方酷暑の影響もあり管理面の工夫や苗の選定にも再考が必要である。
- ・預かり保育（にじ組）のさらなる充実と体制強化を求める。
- ・子育て広場（デイジー）は地域の子育て支援の為に有益である。更なるアピールを行い、内容の充実を期待する。